2022～2023 会報 ＲＩ第2720地区

Rotary

The Hitoyoshi Rotary

人吉ロータリークラブ

通算３１３７回
２０２２年１０月７日
第１０回例会

IMAGINE ROTARY

2022～2023年度 ＲＩ会長
ジェニファーE.ジョーンズ

人吉市九日町30・清流山水花 あゆの里 ☎㉒2171 例会場 事務局 清流山水花 あゆの里内 ☎㉔6665 ㉔6505

人吉ロータリークラブ ホームページ

フェイスブックページ

[E-mail] hitoyoshi-rc@mocha.ocn.ne.jp

2022～2023年度 人吉ロータリークラブテーマ
ロータリーを機会と捉え、その機会により未来を拓く

本日の例会

国歌斉唱・Ｒソング斉唱・来訪者紹介

人吉ＲＣ奨学生現状報告

幹事報告

来訪者挨拶

理事会報告・会長の時間

職業奉仕出前セミナー

寄付カード

点　鐘　　青木一幸 会長

歌　唱　　ｿﾝｸﾞﾘｰﾀﾞｰ 冨永啓太 委員

国 歌　「君が代」
Ｒ Ｓ　「奉仕の理想」

司会・進行　　ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ　小笠原賢治 委員長

来訪者紹介

県立人吉高等学校
人吉ロータリークラブ奨学生４名

県立人吉高等学校
奨学金担当　宮脇大地 様

国際ロータリー第2720地区
熊本第５グループ
ガバナー補佐　立石修治 様
ガバナー補佐幹事　安藤秀徳 様
（八代東RC）

地区職業奉仕部門
部門長　木下　修 様
（熊本RC）

【人吉ＲＣ奨学基金委員会】

委員長　有馬宏昭

第８期生　人吉高校５名　（１名はDVD動画 ）

・学校生活、進学・将来について発表

・奨学金担当 宮脇先生よりご挨拶

・青木会長より激励の言葉

幹事報告

幹事　加登住　亮

≪連絡事項≫

・10月ロータリーレート　１ドル145円
・令和4年10月ガバナー月信を地区ホームページ掲載
・ガバナーノミニー・デジグネート
（2025-26年度ガバナー）決定
大分中央ＲＣ 藤田千克由（ちかよし）氏
・第2720地区ローターアクトより、 第38回年次大会登録の御案内
開催日 2022年11月5日(土)
会　場 大分市 東春日町　会場：アイネス2階
参加申込は10日（月）まで　（回覧）
・よねやまだより270号　（回覧）
・人吉市教育委員会より人吉球磨総合美展支援の御礼

○今後の例会予定
10/14　休会
10/21　例会12：30～　あゆの里　米山奨学生招待卓話
10/28　例会12：30～　あゆの里　地域発展功労者表彰

【来訪者挨拶】

熊本第５グループ
ガバナー補佐　　立石修治 様

来る12月10日熊本第５グループＩＭの講師に本田節さんをお迎えして「防災」をテーマにお話して頂きます。本日はその打ち合わせを兼ねメークアップに参りました。どうぞ宜しくお願い致します。

【世界ポリオデー】

10/23（日）熊本マチナカ音楽祭における
2070地区ポリオデー募金活動について（お願い）
会長　青木一幸

①熊本市募金活動 参加のお願い（10名程度）

②全員寄付について（10/7理事会承認）
10/23募金活動で使用するENDポリオＴシャツ（1枚1600円）10着購入費とポリオ募金寄付のため、会員一人千円のご負担をお願い致します。
※Ｔシャツ購入費の収益金は、地区からポリオプラス基金へ寄贈するとのことです。

会長の時間

会長　青木一幸

皆さん、こんにちは。
本日は、職業奉仕関連の出前セミナーをお願いしましたところ、地区の職業奉仕の部門長で、熊本ロータリークラブ所属の木下修様に、卓話をいただくこととなりました。
木下様はご存知の方も多いと思いますが、下通りの入口にある旧パルコが入居していたビルを現在、新たに建て替えられ、星野リゾート関連のホテルを誘致されるとお聞きしております。そのようなご多忙の中にあって、こうして人吉まで卓話にお越しいただき心より感謝申し上げます。ロータリーにおける職業奉仕の考え方など、今日は私も皆と一緒に勉強させていただければと思います。
ところで、職業奉仕と聞いて、私が真っ先に頭に浮かぶのは、経営の神様の松下幸之助氏です。幸之助氏は、企業は雇用の機会を提供し、健全な企業活動を行い、その果実としての利益から国に適正な納税を行うことが、企業人としての第一の職業奉仕であると説いています。
当たり前のことかもしれませんが、これを常に実行しつづけることはそうたやすくはありません。コロナ禍の中、雇用を守ることに難渋された会社がどれほど多かったことか、大企業の中にも不正競争防止法の理念に沿った公正な企業行動を遵守している企業はどれほどあるのか、最近のカッパ寿司の報道を見るとそのあたりの難しさが垣間見えます。納税については言うに及ばずです。
我々はつねに、職業道徳といった自らが寄って立つ指針でもって自己を律して、日々の事業を行っていかなければなりません。
そう言われるとなかなか気が重くなる話なのですが、反面、幸之助氏の言葉を聞くと、ことさら企業としての特別な奉仕活動を行わなくても、日々の事業活動そのものが奉仕活動の意味合いを内包している尊いものであって、仕事に貴賤なしと言いますが、まさに適正な商売であれば、どんな職業であれ社会奉仕の一端を担っているとの矜持をもっても良いんだなと、私自身、随分と気分が軽くなる思いであります。あらためて氏の偉大さに思い至ります。
もっとも、ロータリー活動における職業奉仕というのはもう少し範囲の広い、より社会奉仕的な意味合いの強い、いわゆるフィランソロフー的なものなのかもしれません。この点、そのあたりのとことも、本日のお話を聞いてより高次の職業奉仕について見識を深めていければと思っております。

今日の例会は、前半が奨学生の報告の時間、そして後半が木下様の卓話と盛沢山です。従いまして、本日の会長の時間は、卓話の前振りという意味あいとして、短くこれくらいにさせていただければと思います。ご清聴、ありがとうございました。
では、これより木下様に卓話をお願いしたいと思います。

【職業奉仕委員会】

地区職業奉仕部門　出前セミナー

国際ロータリー第2720地区
職業奉仕部門長　木下　修
（熊本RC）

職業奉仕部門 2022年-2023年度
地区スローガン
「ロータリーはつながりで溢れている　～友情いっぱいの仲間となにかよいことをしましょう～」

職業奉仕部門長　木下修（熊本RC）
2022-2023年度 「職業奉仕とロータリー」
～我々はロータリアン！職業倫理を広めよう～

2月19日（土）　地区チーム研修セミナー
3月12日（土）　PETS
3月26日（土）　部門別協議会
4月 3日（日）　地区研修・協議会
8月以降　　出前セミナー開始

職業奉仕とロータリー

◇ポール・ハリスの社会創造
友情とビジネスを結び付け、それによって事業も栄え、友情を深める事が出来るのではないか
同じ職種の中から代表者を選び
⇒集会で職種のアドバイスを交換する団体 ⇒ クラブ
⇒健全な職種の発展をサポートする団体 ⇒ クラブ
「相互援助の観念」・互恵取引という事業(Service)をするため同士を集めて結社を創る

◇１９０５年２月　シカゴロータリークラブの誕生

◇ロータリー誕生時の定款 シカゴＲＣ1906年1月制定
第1条：本クラブ会員の事実上の利益の増大
第2条：通常社交クラブに付随する親睦およびその他の必要と思われる事項の推進

シカゴ・クラブのパンフレット
・会員になることによって事業上のメリットが得られる
・会員が商品や原材料を購入するときには、会員相互の取引が義務
・原価で提供することが原則
＊統計係がいて、集会でビジネス取引を報告
創立初期のロータリーの特徴〈親睦〉と〈相互扶助〉を目的に急速に拡大（1年後80名）

◇奉仕という概念の芽生え
ドナルド・カーター（特許弁理士）
一業種一会員制は自分達だけのエゴイズム。“会員ばかりいい思いをする会は長続きしない”、“単にメシを食う会ならお断り。何か有意義なことをするならば大きな将来性をもっているので何かをするべきだ。それなら入会する。”　（1906年4月）
↓
定款第3条
「シカゴ市の最大の利益を推進し、シカゴ市民としての誇りと忠誠心を市民の間に広める」を追記（1906年12月）　↓
ポール・ハリス
職業人の親睦のエネルギーを、世のため人のために使うことを考える（1907年）⇒ロータリーの方向を転換

◇ロータリー創成期
1905年　ロータリー誕生
1905年　欠席者には50セントの罰金“ファインボックス”
1906年　**「親睦」**か**「奉仕」**かの論争（第一の危機）
1906年　シカゴRCにＳＡＡ（社交クラブの守衛官）が設置され集会を監督
1907年　公衆トイレの設置
1907年　**ポール・ハリス「社会貢献」と「クラブ拡大」を活動目的に追加**

ロータリー創成期の3年間は“奉仕・拡大派（少数派）”と“親睦・互恵派（多数派）”との間で激しい討論。クラブは崩壊寸前。

◇シェルドンの理念（1908年1月入会）
（シカゴRC）
ミシガン大学経営学部販売学専攻
修士課程をトップの成績で卒業

創成期のロータリー（初期の目標は利己的）
①物質的互恵主義＝会員が例会の間に取引を行う
⇒消滅
②精神的互恵主義＝会員が例会に職業上の問題を持ち込む⇒発展

シェルドンの入会⇒「奉仕」という文化概念をロータリーに持ち込む
「利己と利他との調和」＝「奉仕」
①「よく他人のために尽くす事」 ⇒ **サービス**
②「サービスが大なれば大なるほど利得は大きい」
③**「最も奉仕する者、最も多く報いられる」**
ロータリーのスローガン⇒職業奉仕の誕生
この原理実現のため、ロータリーの制度を手直す⇒職業分類学の力を借り、職業分類表を作成

◇職業奉仕と社会奉仕
1908年　職業奉仕
理論のシェルドン（1908年入会）
ロータリーは同業者の中の代表者であり実働部隊ではない。社会奉仕に敢えて反対ではない。クラブとして直接その方面に参与すべきではなく、他の団体の主導するこの種の運動にクラブ員が個々に参加することを奨励。ただ他に適当な団体の存在しない場

合は、その出現をみるまではロータリークラブが運動を主導するのもやむを得ないだろう。

1918年 社会奉仕
実行のエドガーアレン（1918年入会）
障害者を救済することを目的にエリリアRC（オハイオ州）に入会。理論は第二の問題で奉仕の実行を理想とする。ロータリーが例会で煙草・歌・演説・肩を叩きあう会合で終わってはいけない。
我々には実行あるのみ

1923年 決議２３-３４採択
第二の分裂の危機
第14回セントルイス世界大会決議
一方において、個々のクラブに対し事実上の完全な自治を認める
他方において、1つの行動が他の行動を無視すべきではない。
↓
相拮抗する諸勢力を強調させた決議
クラブの自主性が認められる

◇ロータリアンは、ロータリーから 各種の職業分類に派遣された代表
ガイ・ガンディカー
（レストラン経営）（フィラデルフィアRC）

自己の職業分類に対する義務と責任

ロータリーの原理と理想を説き
ロータリーの他人に対する思いやりの精神と
ロータリーの職業倫理基準をその同業者に伝達すべき任務を
ロータリーから課せられている

◇ガイの奉仕哲学＝Betterment（向上）
ロータリークラブの構成と目的（ロータリー通解）
ロータリークラブは、異なった事業または専門職務から選ばれた者を以て構成され、次に掲げる目的を達成するために組織されたものである。
第1. 会員一人一人の向上
第2. 会員の事業の向上
第3. 会員の同業者・業界全体の向上
第4. 会員の家庭、町、州、国、ならびに社会全体の向上

「ロータリーとは、自分自身を、事業を、職種・業界を、そして社会を向上させるという向上運動以外何物でもない」「その向上の成否は、ロータリアンの個人としての活動（職業上の務め）にかかっている
↓
「誇りあるロータリアンは、職種・業界を代表する職業人として、自らのあらゆる日常業務の中でロータリアンの原則を実践せよ」と主張

◇ロータリーの綱領（Object of Rotary）
第一　奉仕の機会として知り合いを広めること；
第二　事業および専門職務の道徳的水準を高めること：あらゆる有用な業務は尊重されるべきであるという認識を深めること；そしてロータリアン各自が、業務を通じて社会に奉仕するために、その業務を品位あらしめること；
第三　ロータリアンすべてが、その個人生活、事業生活および社会生活に常に奉仕の理想を適用すること；
第四　奉仕の理想に結ばれた、事業と専門職務に携わる人の世界的親交によって、国際間の理解と親善と平和を推進すること；

◇職業奉仕はロータリーの金看板
ポール・ハリスの定義「THIS ROTARIAN AGE」
・職業奉仕、すなわち各実業界及び職業界に向かって高尚な倫理基準と理想の醸成設定を期する奉仕（日本語版127P）
・職業奉仕 - 所属業界の倫理的向上に関する事項（日本語版127P）

「ロータリー綱領」第２項の最初の文
「事業および専門職務の道徳的水準を高めること」
（1912年より存在）

職業奉仕の概念
職務上の高い倫理基準と職業を高潔なものとすることであり、職業奉仕はロータリーの核心として世界中の地域社会で奉仕を行う土台となるもの

◇職業奉仕のスローガン
ハーバート・テーラー
（シカゴRC）
1931年、クラブ・アルミニウム社の経営を任される。会社再建のため、社の道徳的・倫理訓の指標が必要
１００語の文章⇒７つの項目
自問自答式の４項目にまとめた

四つのテスト
・真実かどうか
・みんなに公平か
・好意と友情を深めるか
・みんなのためになるかどうか

・会社の信用力が上がり業績を伸ばした
1939年－1940年、シカゴRC会長

◇ロータリアンの職業宣言（1989年採択）
事業または専門職務に携わるロータリアンとして、私は以下の要請に応えんとするものである。
１．職業は奉仕の一つの機会なりと心にしるせよ。
２．職業の倫理的規範、国の法律、地域社会の道徳的基準に対し、名実ともに忠実であれ。
３．職業の品位を保ち、自ら選んだ職業において、最高度の倫理的基準を推進すべく全力を尽くせ。
４．雇主、従業員、同僚、同業者、顧客、公衆、その他の事業または専門職務上関係を持つすべての人々に対し、ひとしく公正なるべし。
５．社会に有用なすべての業務に対し、当然それに伴

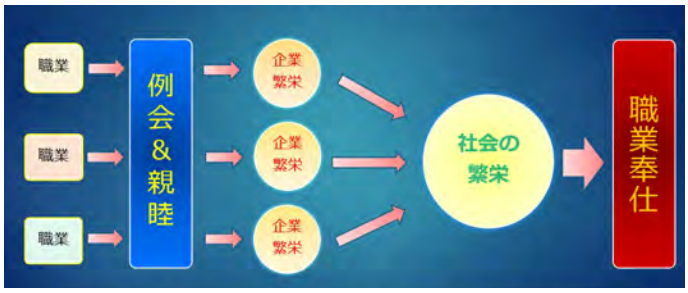
う名誉と敬意を表すべきことを知れ。
6．自己の職業上の手腕を捧げて、青少年に機会を開き、他人からの、格別の要請にも応え、地域社会の生活の質を高めよ。
7．広告に際し、また自己の事業または専門職務に関して、これを世に問うに当たっては、正直専一なるべし。
8．事業または専門職上の関係において、普通には得られない便宜ないし特典を、同僚ロータリアンに求めず、また与えることなかれ。

◇ロータリアンの行動規範

ロータリアンとして、私は以下のように行動する

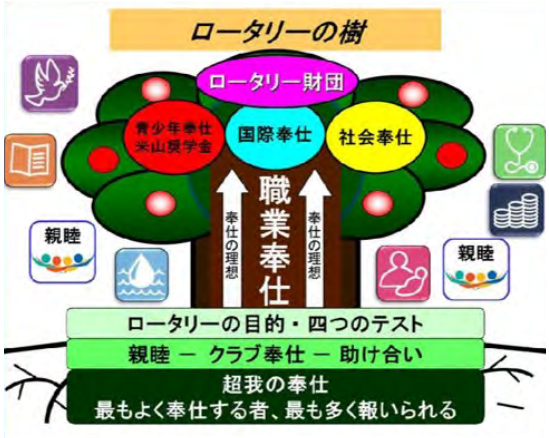
I. 個人として、また事業（職種）において、高潔さと高い倫理基準をもって行動する
II. 取引のすべてにおいて公正に努め、相手とその職業に対して尊重の念をもって接する
III. 自分の職業のスキルを生かして、若い人々を導き、特別なニーズを抱える人々を助け、地域社会や世界中の人々の生活の質を高める
IV. ロータリーやほかのロータリーの評判を落とすような言動は避ける

◇企業の繁栄と職業奉仕



・真実かどうか　・みんなに公平か　・好意と友情を深めるか　・みんなのためになるかどうか

◇ロータリーは他の奉仕団体とは根本的に違う団体である



ロータリーの樹
2013年RI規定審議会で採択
自己の職業分類に対する会員の義務と責任
・職種全体の地位向上の義務
・同業者に職業倫理基準を伝達すべき責任

◇職業奉仕の実践

○職場訪問による相互理解
○卓話を聞くことによって職業の研鑽を高めましょう
○ロータリアンの卓話（ミニ卓話）を通した相互理解
○経営理念などの情報交換
○職種の代表者として、倫理的な行動を周囲に促しましょう
○出前セミナーの受け入れ

◇職業奉仕 頑張りましょう

ご清聴ありがとうございました。

【寄付カード】
〈ニコニコ箱委員会〉
・**八代東ＲＣ立石ガバナー補佐. 安藤ガバナー補佐幹事**
今年度熊本第５グループのガバナー補佐を努めております立石とその幹事の安藤です。12月にＩＭを行う際に本田節様にご来訪頂くための挨拶に伺いました。どうぞ宜しくお願い致します。
・**本田会員**　八代東ＲＣの立石ガバナー補佐、安藤ガバナー補佐幹事のご来訪を歓迎致します。12月10日のＩＭの盛会をご祈念致します。
・**堤会員**　木下修さんのご来訪ありがとうございました。
・**青木会長**　木下様、お忙しい中、卓話にお越し頂き誠に有難うございました。。又、立石様、安藤様におかれましても、ご来訪頂き御礼申し上げます。

・**加登住幹事**　熊本第５グループ立石ガバナー補佐、安藤ガバナー補佐幹事ご来訪ありがとうございます。講師の木下修様、わかりやすくお話頂きありがとうございます。最後に、人吉高校の皆様、心温まるお話ありがとうございました。
・**中川会員**　木下職業奉仕部門長「出前セミナー」ありがとうございます。八代東ＲＣ立石ガバナー補佐、安藤ガバナー補佐幹事、ようこそ人吉RCへお越

し戴きました。

〈人吉ＲＣ奨学基金委員会〉
・**浅野会員**　ゴルフ賞金ガッポリいただきましたので一部寄付します。

点 鐘　　青木一幸 会長

ロータリーミニ情報

ＩＭ（Intercity Meeting）

インターシティーミーティング。グループ、分区単位で、ガバナー補佐が主催して開かれることが多いようです。テーマはロータリーのこと、そして一般社会のことで、そのときに話題になっていること、考えなければならない問題点など、多岐にわたります。形式も講演、フォーラムなどいろいろあります。この会合では、知識を広め深めるとともに、グループ、分区内の会員の親睦も重要な目的ですから、懇親会も併せて開催されます。

ロータリーの特別月間

クラブだけでなく、ロータリアン一人ひとりが、ロータリーの活動に参加するよう強調するため、国際ロータリー（ＲＩ）理事会が指定した月間のことです。
なお９月、１０月には日本独自の月間テーマが設定されています。

８月　会員増強・新クラブ結成推進月間
９月　基本的教育と識字率向上月間/ロータリーの友月間
10月　地域社会の経済発展月間/米山月間
11月　ロータリー財団月間
12月　疾病予防と治療月間
1月　職業奉仕月間
2月　平和構築と紛争予防月間
3月　水と衛生月間
4月　母子の健康月間
5月　青少年奉仕月間
6月　ロータリー親睦活動月間

ロータリーの特別週間

「ロータリー学友参加推進週間」
　ＲＩ理事会は、10月7日を含む1週間をロータリー学友参加推進週間として、ロータリー学友をクラブの例会や奉仕プロジェクトに招待し参加してもらうことを奨励しています。ロータリーが地元そして世界で人びとの生活を改善していることを学友たちに知ってもらうだけでなく、クラブの新会員となって、地域社会リーダーのネットワークに加わり、ひいてはロータリーに貢献してもらえることが期待されます。

「世界インターアクト週間（11月5日を含む1週間）」
　ＲＩ理事会は、ロータリークラブとインターアクトクラブに、11月5日を含む1週間を「世界インターアクト週間」として遵守するように奨励しています。それは、ロータリークラブとインターアクトクラブを「顕著であり、国際規模の活動」に参加させるためです。

「世界理解と平和週間（2月23日～3月1日）」
　1905年2月23日は、ロータリーの創始者・ポール・ハリスが、友人3人と最初に会合をもった日です。この2月23日を祝う創立記念日は、「世界理解と平和の日」（World Understanding and Peace Day）として遵守されます。この日、各クラブは、国際理解、友情、平和へのロータリーの献身を特に認め、強調しなければなりません。理事会は、この2月23日に始まる1週間を「世界理解と平和週間」と呼び、ロータリーの奉仕活動を強調することを決議しています。

「世界ローターアクト週間（3月13日を含む1週間）」
　1993年、ＲＩ理事会はＲＡの創立25周年を記念して、3月13日を含む1週間を「世界ローターアクト週間」に指定しました。 各ＲＣには、地元のＲＡＣとの共同プロジェクトや、親睦活動に参加するよう、呼びかけを行っています。参加により、ロータリアンは、ローターアクターから、若いエネルギーや、新しいアイデア、労力を得ることができますし、ローターアクターは、ロータリアンから深い知識や経験を学ぶことができます。

ロータリー友ＨＰより
https://rotary-no-tomo.jp/